

アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開に関する研究集会 プログラム

応用力学研究所 西棟W601多目的研究交流室

(1演題 25分講演=講演20分、議論5分)

12月2日(金)

13:30-13:40	開催趣旨と観測からの期待	森野悠・鶴野伊津志 & 長田和雄(名古屋大学)	
13:40	櫻井 達也	観測及びモデル解析に基づく大気アンモニアの動態解析	明星大学 理工学部
14:05	速水 洋	真瀬フラックスサイトにおける硝酸エアロゾル鉛直濃度勾配の観測	電力中央研究所
14:30	Wei HU	Insights into a dust event transported through Beijing in spring 2012: Morphology, chemical composition and impact on surface aerosols	熊本県立大学
14:55	早崎 将光	PM広域高濃度と気温逆転層	国立環境研
15:20-15:40 休憩			
15:40	Ying Li	Global maps and altitude profiles of particle phase state in atmospheric secondary organic aerosols.	国立環境研
16:05	堀江 洋佑	WRF-CMAQによるPM2.5の発生源解析	兵庫県環境研究センター
16:30	浦西 克維	PMF及びCMAQによるPM2.5の発生源解析-2013年度 東海・近畿地方	大阪大学大学院工学研究科
16:55	小松 宏昭	化学輸送モデルを用いたPM2.5の発生源寄与解析	神奈川県環境科学センター
17:20	嶋寺 光	WRF-CMAQによる高濃度PM2.5予測に対する各種設定条件の影響	大阪大学大学院工学研究科

12月3日(土)

8:40	板橋 秀一	化学輸送モデルによる西日本への硝酸塩の越境輸送	電力中央研究所
9:05	王 哲 (Wang Zhe)	Modeling study of wintertime LRT of air pollutants in East Asia with NAQPMS and CMAQ	九大応力研
9:30	鶴野 伊津志	GEOS CHEMを用いたPM2.5 越境汚染のソースリセプター解析	九大応力研
9:55	森野 悠	有機エアロゾルの揮発特性のモデリング	国立環境研
10:20-10:40 休憩			
10:40	原 政之	領域気象モデルの境界条件による大気環境シミュレーションの不確実性の評価	埼玉県環境科学国際センター
11:05	茶谷 聡	客観解析の違いによるインド大気質予測への影響	国立環境研
11:30	山地 一代	モデル間相互比較J-STREAMの紹介とお誘い	神戸大学
11:55	弓本 桂也	気象庁・気象研におけるエアロゾルデータ同化-同化予測システムと再解析プロダクト-	気象研究所
12:20	森川多津子	JATOPIにおける大気質モデル予測精度向上の取組み	一般財団・日本自動車研究所
12:45-13:00 議論			
13:00	研究集会終了		